

評価手法について

資料 2

平成 23 年度 第 2 回 森と緑づくり委員会での主な意見と対応

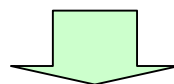
<主な意見>

- 1 台風 12 号で被災した奈良県の森林について、間伐事業実施森林と未実施森林の被災状況の違いを調査できないか。
- 2 公益的機能の数値化については、間伐実施前後の違いを示す必要があるのではないか。
- 3 里山林の植生の変化は、森を若返らせるという視点で、将来高木となる樹種の更新状況の調査が必要。また、実生更新か萌芽更新かの調査も必要。
- 4 アンケートでは、否定的な意見の回答に理由を書ける欄を設けてはどうか。
- 5 アンケートの冒頭の説明部分に、事業の目的を分かりやすくまとめて記載する必要がある。
- 6 都市緑化の一般県民向けアンケートにおいて、問 4 と問 5 の設問の内容が似ている。また、既存民有林の保護については、同時に保全、整備、買取も示しておくほうが良い。
- 7 4 年目にアンケート調査を実施するとして、別にシンポジウムを開催し、参加した県民を対象にアンケートをしてはどうか。



<対応>

- 1 奈良県に問い合わせたところ、調査する意向はあるとのことなので、調査報告を入手次第お示しする。
- 2 費用対効果では、間伐の実施前後の公益的機能の差を計算することとなっており、林野庁で検討中であるので、新たに示される計算方法を活用する。
- 3 来年度から実施する里山林調査において、樹種、更新方法について調査する。
- 4 全てのアンケートについて、判断を伺う項目については、その理由を書ける欄を設ける。→別添 1
- 5 一般県民用アンケートについては、委託する専門業者の意見を加えて作成する。
- 6 問 4 については、問 5 と類似しているため削除する。問 5 については回答の 6 を修正する。→別添 2
- 7 シンポジウムについては 5 年目(H25 年度)の早期に行う予定であり、その際に参加者を対象にアンケートを実施する。



<平成 24 年度実施事項>

- 一般県民用アンケートについては専門の業者に委託するので、効果的な回答を得られるよう、委員からいただいた意見を反映させて調整する。
- 一般県民以外の市町村、団体、業者に対するアンケートは、年度当初から随時実施していく。
- 市町村担当者を対象としたアンケートについては、タウンミーティングやヒアリングにより意見を聴き取る。
- アンケート以外の評価項目である事業実績については、年度毎の実績に加え、累積の全体計画に対する達成率をまとめる。

<問いに対する答えのうち、あなたの考えに一番近いものを○で囲ってください>

I 森と緑の働きについて

本県には、三河山間部の森林（人工林）、名古屋市に代表される都市の緑、その中間にある里山林と、守り育て将来に引き継いでいかなければならない森と緑がたくさんあります。

問い1 森と緑は、災害の防止など様々な公益的機能により、私たちの暮らしを支えています。あなたは、このことについて知っていますか。

答え1 知っていた ・ 知らなかった

問い2 近年、木材価格の低迷により、所有者による人工林の手入れが不足したり、都市の緑は開発などにより減少していきなりして、森と緑の持つ様々な公益的機能がだんだん低下していきってしまうことが心配されています。あなたは、このことを知っていますか。

答え2 知っていた ・ 知らなかった

問い3 将来に向けて健全な森と緑を引き継いでいくことについて、必要だと思いますか。

答え3 必要と思う ・ 必要としない
(理由)

II 「あいち森と緑づくり税」について

問い4 このアンケート調査の前に「あいち森と緑づくり税」のことを知っていましたか。

答え4 知っていた ・ 知らなかった

問い5 「あいち森と緑づくり税」を使った間伐や都市緑化などの取り組みをどのように思いますか。

答え5 必要と思う ・ 必要としない
(理由)

都市緑化推進事業について

「都市緑化推進事業」：あいち森と緑づくり税を使って、①都市における樹林地の保全・創出を図る取組、②民有地の緑化、③美しい並木道の再生、④県民参加で実施する緑化活動や都市緑化の普及啓発活動などへ支援する事業

問1 都市の緑はヒートアイランド現象の緩和、生物多様性の保全、地震発生時の延焼防止などの防災機能の発揮に役立っていることを知っていましたか。

1. 知っていた 2. 知らなかった

問2 あいち森と緑づくり事業を使って、都市の緑を増やす取組を行っていることを知っていましたか。

1. 知っていた 2. 知らなかった

問3 あなたの住まいの周辺（半径1～2km程度）の緑についてどのように感じますか。

1. 増えてきていると感じる
2. 減ってきていると感じる
3. 変わらない

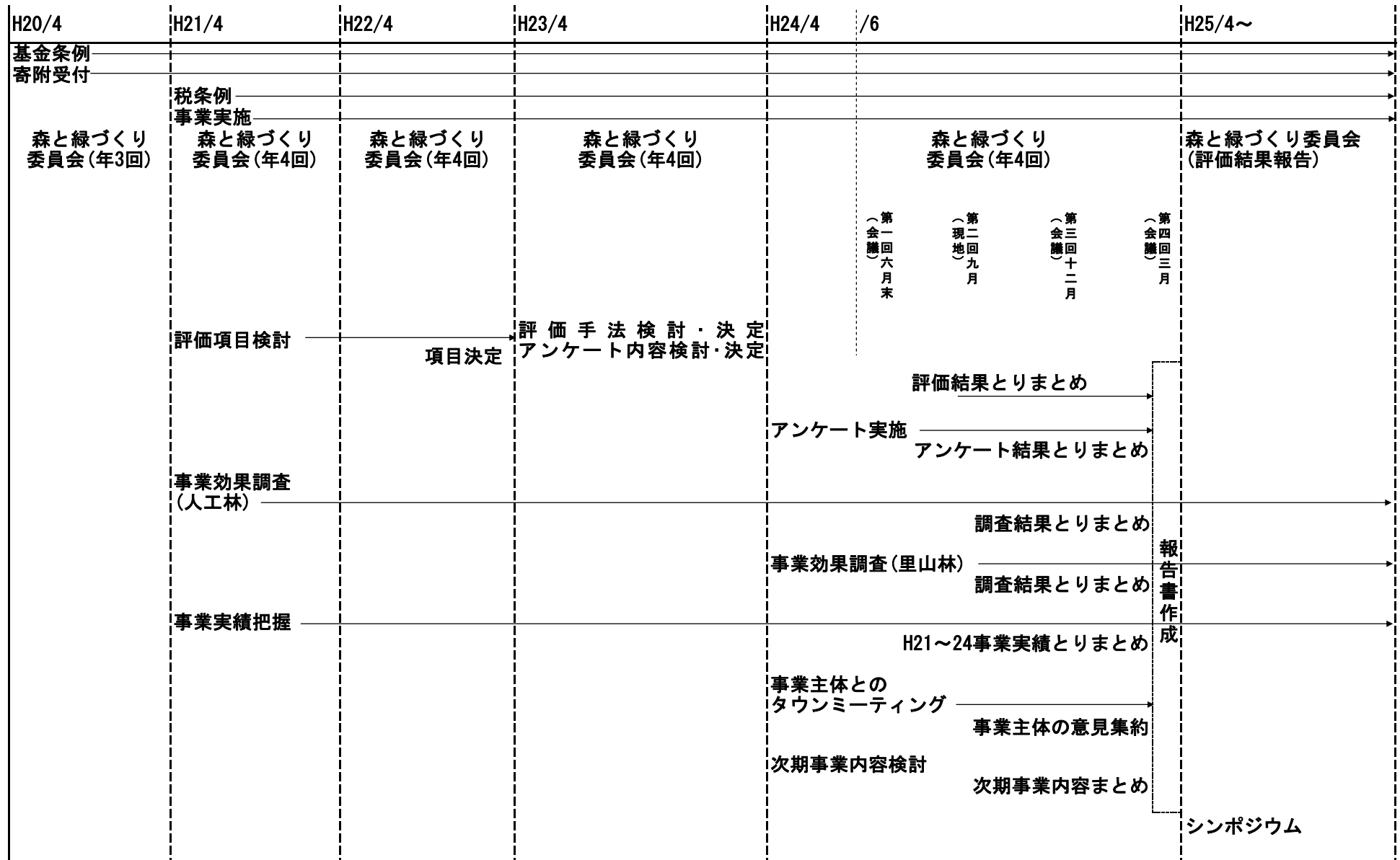
問4 あなたの住まいの周辺（半径1～2km程度）でさらに緑を増やすとしたら、特になどどのようなところが良いと思いますか。（回答は3つ以内）

1. 家の庭や生垣の緑 2. ビル（集合住宅、オフィスビル等）の屋上や壁面の緑
3. 商業施設（スーパー、店舗等）の駐車場の緑 4. 工場や事業所の緑
5. 街路樹など道路の緑 6. 公園の緑 7. 学校など公共施設の緑
8. 池や川など水辺の緑
9. その他（ **削除** ）

問5 今後、さらに都市の緑を増やしていくために、愛知県や市町村にどのような取組を望んでいますか。（回答は3つ以内）

1. 家の庭や生垣の緑化の助成
2. ビル（集合住宅、オフィスビル等）の屋上緑化や壁面緑化、駐車場緑化への助成
3. 街路樹や中央分離帯の緑化
4. 公園緑地の整備
5. 学校など公共施設の緑化 6. 既存の樹林地の買収 **民有林の買収(公有地化)・保護・保全・整備**
7. その他（)

あいち森と緑づくり事業の評価にかかるスケジュール



※平成24年度にアンケートを実施するとともに、事業地の効果調査等を行い、その成果を平成25年度早期のシンポジウムで結果を広く県民に報告する。